

# 大崎町で活躍しています ✨ vol.8



フィリピンから大崎町へ！母国の家族のため、日本で働くフェロリーノさん(写真右)とレスターさん(写真左)取材しました。

## ● 家族のために日本へ

フィリピンからやってきたフェロリーノさんとレスターさんは、それぞれ1児と2児の父親でもあります。家族を養うために、元々は他県に技能実習生として来日していましたが、期間満了で帰国した後に、再び特定技能実習生として再来日し、現在は、町内で食肉加工業に従事しています。

## ● 日本での生活

昨年11月に来町したお二人は、日本のアニメや漫画、焼肉やラーメンが好きだそうです。中でも豚骨ラーメンがお気に入りだそうです。一時は週に何度も食べに行っていたと笑います。

一方で、日本での生活は、二人にとって大きな挑戦でもありました。言葉の壁や、移動手段、ゴミの分別など、慣れないことも多くありました。

しかし、会社をはじめとした周りの人々の温かいサポートのおかげで、少しずつ日本の生活に慣れてきたそうです。お二人とも日本の方は優しく、思いやりがあると嬉しそうに話します。

## ● 今後の目標

お二人は今後、特定技能2号の資格を取得し、家族を日本に呼び寄せて、このまま日本で暮らすことを目標としています。また、もっと日本語でしゃべりたい、交流したいという思いも強く、イベントやスポーツなどを通して、地域の方々ともふれあいたいと考えているそうです。お二人は目標達成のため、日本語の勉強を続け、目標の実現に向けて努力を続けますと意気込みます。



**多文化共生サポーターを募集しています！**

興味のある方は、右の二次元コードから登録をお願いします。



問 企画政策課

共生協働係 (221)

「きっかけは、声掛けから！」

## 町の歩み

# 町史編さんだより

vol.11

【お問い合わせ先】

社会教育課 文化公民館係(421)

過去に大崎町が発行した総合開発計画や、各部署で発行されている基本計画などは大崎町の戦後から現代までの町の行政の歩みを知る貴重な資料です。そこには、発行された時期の大崎町の現状と課題が記されており、かつ今後どのようにして課題解決をおこなっていくかについて記されています。

役場庁舎の書庫を探していると、昭和33年3月に発行された『新市町村建設計画書』が見つかりました。統計資料がかなり多く占めた内容ではありませんが、戦後から昭和30年代初頭にかけての産業だけでなく、町民の暮らしまでを分析しているの、とても参考になります。



大崎町史編纂委員会事務局 内村・吉原(大崎町中央公民館1階 社会教育課)

〒899-7305 曾於郡大崎町仮宿1029番地 ☎476-1111 (421・422)